

事務事業名	菅谷たたら山内保存修理事業		所属部	教育委員会	所属課	文化財課		
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	文化財・文化振興G	課長名	角田 徳幸	
	施策名	〈31〉地域文化の振興		担当者名	高橋 誠二	電話番号	0854-40-1075 (内線) 2231	
	目的対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。				
	基本事業	〈089〉地域文化の保存継承		予算科目	0:1:5:0:0:1 2:5:4:5:0:6	大事業名	社会教育施設管理事業	
目的対象	市民	意図	地域文化を次世代に伝える。				中事業名	菅谷たたら山内保存修理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
菅谷たたら山内 各施設	防災工事の完了
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H24 年度～ R8 年度 )	菅谷たたら山内保存修理工事 対象施設 高殿:入母屋造こけら葺1棟 334.9㎡、元小屋:切妻造こけら葺1棟 293.8㎡、米倉: 切妻造こけら葺1棟 58.1㎡、山内祠・金屋子祠・元山祠・牛頭天王祠・愛宕秋葉金刀比羅祠・拝殿5棟、三軒長屋:切妻造こけら葺1棟、桂の木1株
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
① 工事監理業務委託契約事務 ② 実施設計業務委託契約事務 ③ 保存修理工事請負契約事務 ④ 工程管理協議 ⑤ 次年度事業内容協議	・国指定文化財の保存修理では、計画どおり適切な調査、設計、施工を行なった。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 実施設計進捗率(防災工事)	%	※	※	※	20.0
イ 工事進捗率(防災工事)	%	※	※	※	10.0
ウ 実施設計進捗率	%	87.0	91.0	100.0	※
エ 修理工事進捗率	%	82.0	89.0	100.0	※

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	財源内訳	② コストの推移				
報償費91千円、消耗品費56千円、委託料9,702千円、工事請負費75,152千円		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
【財源内訳】 地方債:過疎債(28,300千円)	国庫支出金	千円	25,000	37,500	42,500	5,000
	県支出金	千円	8,333	12,500	14,166	1,250
	地方債	千円	16,700	25,000	28,300	3,700
	その他	千円				
	一般財源	千円	63	86	35	60
	事業費計	千円	50,096	75,086	85,001	10,010

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・平成24年度から着工した「菅谷たたら山内保存修理工事」は、令和4年度の「三軒長屋」の完了をもって終了した。令和5年度からは「防災施設整備工事」と「保存活用計画」の策定をおこなう。
② 事業実施するうえでの課題	・令和5年度から3か年予定で「菅谷たたら山内防災設備工事」(避雷針と放水銃の新設)を実施する予定だったが、三軒長屋付近の菅谷川護岸が崩落していたため、その修理工事と着工前の試掘調査が追加となったため、工期延長と事業費の増加が想定される。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国及び県への働きかけを強め、早期に保存修理工事が完了することを目指す。